



自然災害から身を守る

「心構え」と「日頃の備え」

—— 防災に対する意識を高め、災害に備える ——

図 危機管理課

集中豪雨や台風は、洪水やがけ崩れ、土石流などを引き起こし、大きな被害をもたらすことがあります。小諸市でも、昨年10月の台風21号の接近に伴い、上ノ平区で土砂崩れが発生し、避難所が開設され、区民の皆様が自主避難しました。

小諸市は「坂の町」と言われるように、急傾斜の地域が多く、土砂災害が発生する危険性が高い地域です。「災害の発生を防ぐ」ことは難しいですが、「心構え」と「日頃の備え」をすることは、自らの身を守り災害の被害を最小限に抑える「減災」につながります。

いざという時に備え、次の3つに取り組んでみてください。



▲台風21号に伴う主な被害（昨年）

- ・停電：最大4605戸
- ・倒木：63件
- ・崩落、落石等：8件
- ・越流、洗堀等：10件
- ・建物倒壊：2件
- ・生産物被害金額：987万円

01 自分の命は自分で守る！

災害が起きた時、まず何よりも自分が無事であることが第一です。そのために、自分の命は自分で守る、という意識を持ち、私たち一人ひとりが、折に触れて災害について考え、自分の身を守るために必要な対策を準備することが大切です。

02 家庭用防災マニュアルを再確認してください！

災害への対策として、正しい知識を得ることが自分の身を守ることへの第一歩です。そして、地域に目を向け、住んでいる場所や周辺の危険箇所を知っておくことが、被害を軽減することにつながります。

各戸に配布してある家庭用防災マニュアルには、風水害、震災、火山災害、火災等への対策の基礎知識、事前に準備すること、発生した際に行うこと等を掲載しています。

もう一度、家庭用防災マニュアルを確認し、各家庭で防災について、話し合ってみましょう。



03 小諸市総合防災訓練への参加

今年は、全区を対象に開催します。大規模な災害が発生した直後は、まず自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」が重要です。

いざという時、混乱せず適切な対応をとるためにも、小諸市総合防災訓練に参加しましょう。

▶日時 8/26(日)

▶内容 8:30～ 各区にて

避難訓練・各種体験訓練（消火器・無線機等）

13:00～ 東小学校にて

市と関係機関等との連携訓練（見学自由）

※日程の都合上、訓練を実施できない区や別日程で訓練を実施する区があります。

